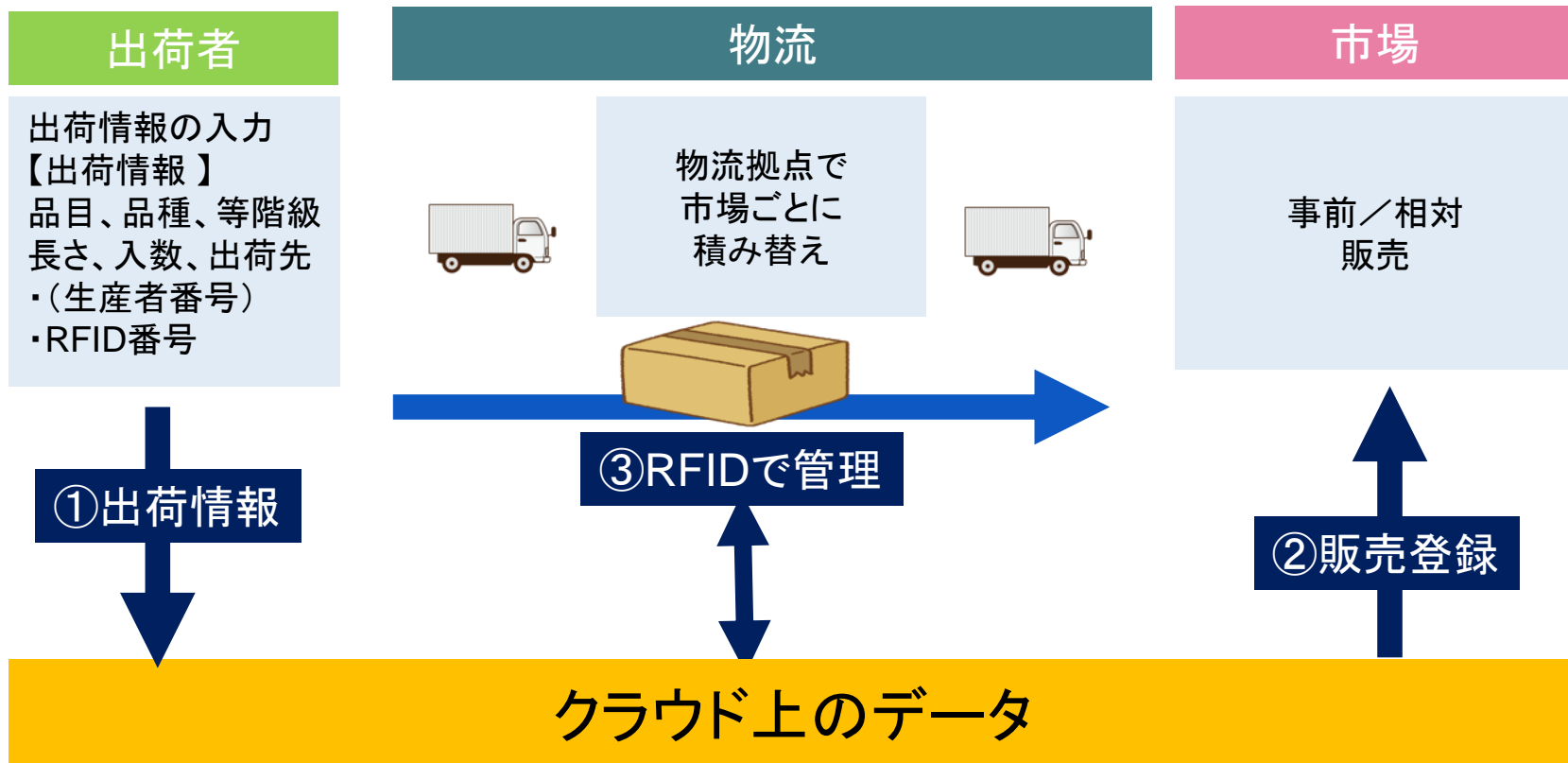


情報一元化の取り組みについて

MPSジャパン株式会社

情報一元化

生産、流通、加工、小売迄の情報のデジタル化と情報の一元化による
花き流通の効率化を目的とし実施



実証内容

日 程 (第1回) 3月2日 (水) 販売分 九州～大阪
(第2回) 3月4日 (金) 販売分 九州～東京

実証ルート (出荷者) 熊本 JAやつしろ
(物流業者) 福岡 三和陸運
(卸売市場) 兵庫県生花／東日本板橋花き

	大阪便	東京便
熊本 JAやつしろ出荷場	2/28 出荷	3/2 13:30 一覧表入力 15:30 RFID紐付け作業
福岡 三和陸運物流センター	2/28 13:00～機器設置作業 14:00～出荷者入力作業 17:00トラック着 RFID紐付け作業 読み取り試験	3/2 夕方 積み替え作業 (RFID読み込みは省略)
市場 兵庫県生花／東日本	3/1 兵庫県生花 13:00 市場取り込み作業 14:30 トラック着 機器設置作業 読み取り試験	3/3 13:00 機器設置作業 16:00 トラック着 読み取り試験



2/28 三和陸運物流センターでの様子

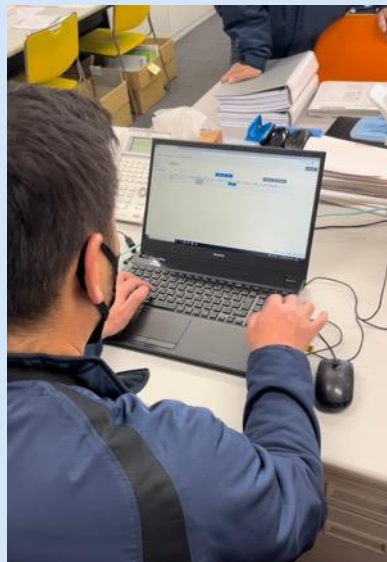
①出荷者による出荷情報の登録

出荷者

出荷情報の入力
【出荷情報】
品目、品種、等階級
長さ、入数、出荷先
・(生産者番号)
・RFID番号

①出荷情報

出荷者側の入力作業



2/28 出荷データ入力の様子

- ✓ 入力は問題なし
- ✓ 項目は要改善
- ✓ 既存の書類作成作業への置き換えは可能か

(現状)Jやつしろ

①入荷集計兼分科表

②出荷伝票

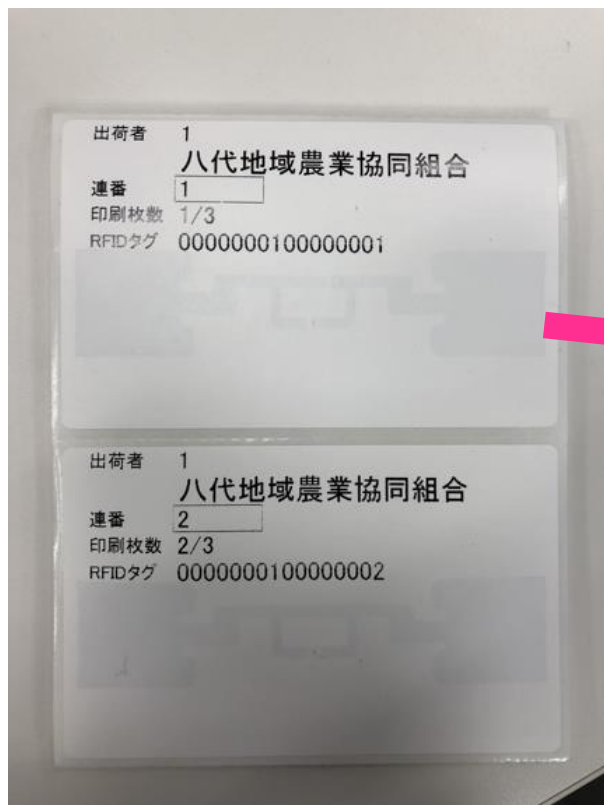
→この既存伝票へ置き換え／連携が今後必要

クラウド上のデータ

【課題】現状では、RFIDの貼付も含め既存の作業に新しく作業が加わることになり負担増となるため、この部分の検討が今後の課題

RFIDの貼付け

箱／バケツとデータを結びつけるためRFIDラベルを添付することが必要



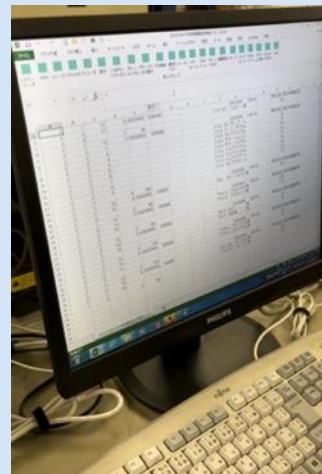
RFIDラベルの出カプリンターは高価であるため、物流会社にプリンターを置き、印刷したラベルを事前に手渡すことを想定

【課題】貼り付けたRFIDラベルの番号を一覧表に入力してく作業負荷が大きい

②市場による販売登録

市場側の販売登録作業

- ✓ CSVで出力し取り込み可能なデータにマクロで変換(右写真)
- ✓ 第1回の試験で、事前にデータ取り込み準備に時間を要することが分かったため、第2回目は事前に準備を行っていただいた。この結果、第2回目は極めてスムーズに取り込めた
- ✓ 現状は出荷者ごとにしか取り込みできないが、今後複数出荷者のデータを一括取り込み可能にする必要あり
→これができなければ、手入力の方が作業が早い



市場

事前／相対
販売

②販売登録

クラウド上のデータ

出荷データが素早く市場に引渡ができ、素早い事前販売開始が実現、(金曜セリ分を木曜夕方から販売:この点がとても良かったという声があり)

③RFIDでの管理

出荷単位ごと(今回はバケットごと)にRFIDを貼り付け、物流センターと到着市場で読み取りがスムーズにいくかを確認を行った



RFID読み取りの課題

RFIDが読み取れない場合があり、今後検討が必要

RFIDの角度によっては読み取れない場合あり
(読み取り機と平行に向いていないタグの一部に発生)



台車のフレームに触れてしまっている場合は読み取れない

台車の種類を変えても読み取れなかった



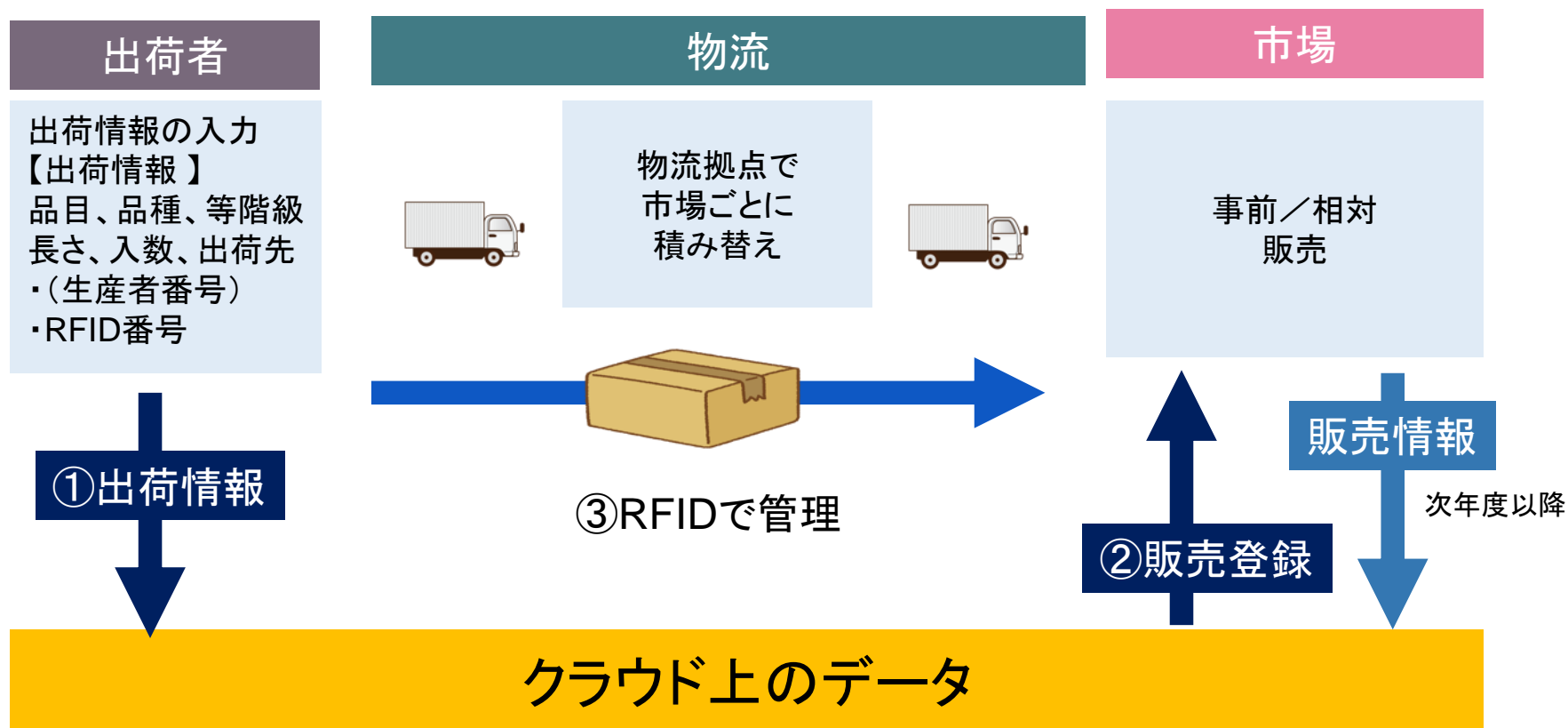
市場でのRFIDでの管理についてのその他の課題

市場で管理するうえで、必要な判別がまだできていないことが課題

- ✓ RFIDが貼り付けてある商品が「ない場合」→判別可能
- ✓ RFIDが貼り付けていない商品がある場合→判別不可
- ✓ RFIDが貼り付けてある商品で、別市場のものが混じっている場合
→判別不可

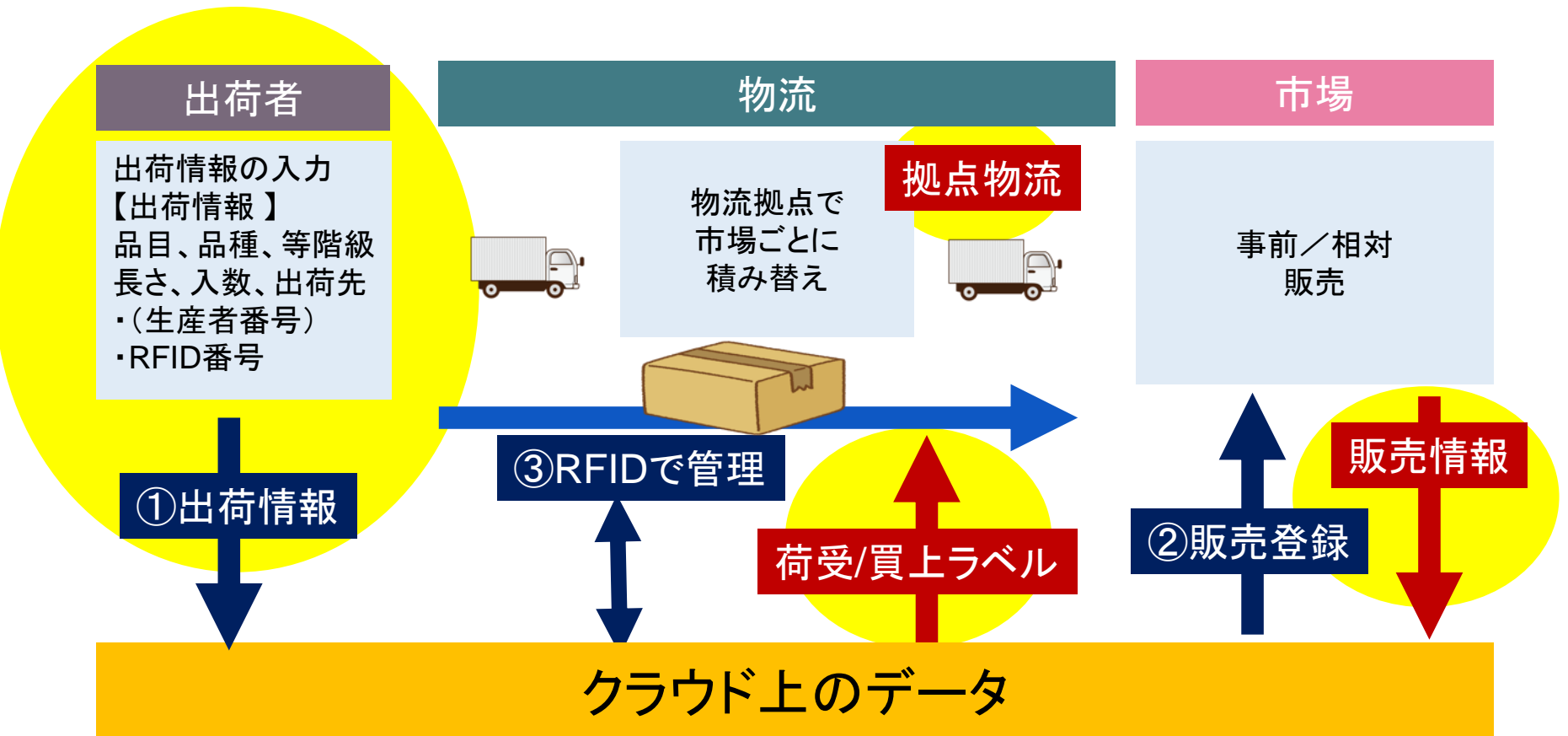
情報一元化

生産、流通、加工、小売迄の情報のデジタル化と情報の一元化による
花き流通の効率化を目的とし実施



今後の取り組み

生産者側のデータ入力部分が次年度以降の最優先の課題であり、次に販売データを取り込み各市場のラベル出力/貼付を目指す



(参考)情報一元化(+拠点物流)による期待される効果

【出荷者】RFIDによる出荷データの電子化(手法は要検討)

- ・出荷時の書類作業等の軽減
- ・市場への出荷情報の引渡/変更が容易に(前売時間増→単価安定)
- ・出荷先市場の選択肢増(単価安定)

【物流業者】RFIDによる荷物管理

- ・作業負担減、時間減による労働問題の解消(2024年問題)
- ・妥当な運賃水準の維持

【卸売市場】RFIDデータ及び拠点物流の活用

- ・出荷データ入力業務の省力化、迅速化、人為的ミス軽減
- ・物流労働問題の制約が解消され集荷しやすくなる
- ・仕分け業務(シール貼りなど)の軽減

買参人にとって:仕入れ単価の安定、調達しやすくなる、商品品質が安定する 等